

INFORMATION DISTRIBUTION SYSTEM UTILIZING DEVICE FOR NOTIFYING OCCURRENCE OF NEWLY RECEIVED INFORMATION

Publication number: JP2002251353

Publication date: 2002-09-06

Inventor: YANO TAKUYA

Applicant: YANO TAKUYA

Classification:

- International: G06Q30/00; G06F13/00; G06F17/30; G09F19/00;
G06Q30/00; G06F13/00; G06F17/30; G09F19/00;
(IPC1-7): G06F13/00; G06F17/30; G06F17/60;
G09F19/00

- European:

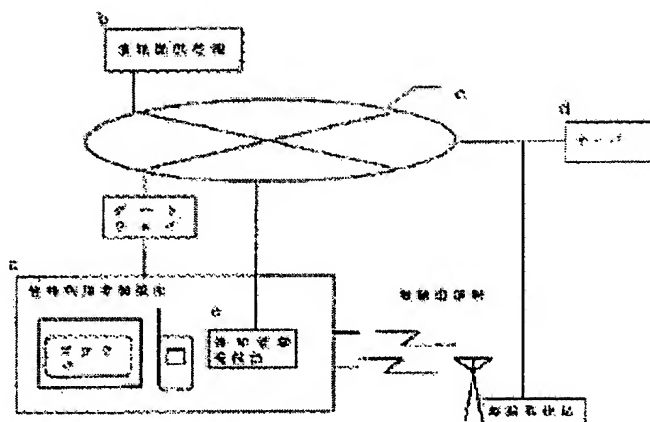
Application number: JP20010102118 20010225

Priority number(s): JP20010102118 20010225

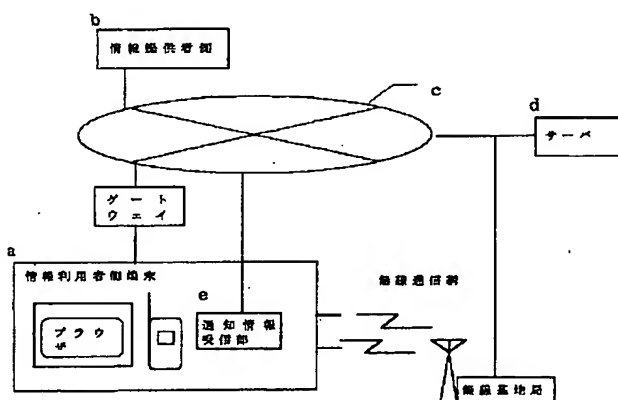
Report a data error here

Abstract of JP2002251353

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an information distribution system enabling cost reduction by providing information needed immediacy or supporting quick distribution of a genre and regional information designated by a user and further to provide marketing information effective to make a plan of sales strategy with information obtained from this system. **SOLUTION:** When information of a category designated by the user is stored in a server d through a network, an information terminal a owned by the user is notified that the information is stored in the server d. A company advertisement is also effectively attached to an information screen when the information is distributed, and advertisement revenue obtained by the company advertisement is reflected on a communication cost. Meanwhile, marketing information is prepared by making user utilization situation, etc., to be a database to distribute the marketing information through the network.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ネットワーク網を介してサーバに、地域・分野などあらかじめ定められたカテゴリ別に格納される新着情報の発生を、カテゴリ別における新着情報の発生の通知を希望するユーザに、ネットワークを介して通知する新着情報発生通知システムと、そのシステムを利用した情報通信システム

【請求項2】 請求項1のシステムから得られるユーザ情報、及びシステムの利用情報のデータより作成したマーケティング情報をネットワークを利用して配信するマーケティング情報提供システム

【請求項3】 フレーム形式をした企業広告と、情報通信を行う者がフレーム形状をした広告内部に情報掲載を可能とする部分を持つフレーム広告を利用した情報通信システム

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】 本発明は、ネットワークを利用して提供された情報が、それを欲しているユーザに迅速に提供出来るようにした情報通信システム、ならびに、このような通信システムより得られる情報を配信する情報提供システム及び、このような情報通信システムに使用して好適な広告システムに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来は、地域に密着したローカルな情報は、新聞や広告チラシあるいはテレビ・ラジオ放送により提供されている。しかし、新聞やチラシではその迅速性において、テレビ・ラジオではそのサービスエリアが広いと限られたエリアに利便性の良い情報を提供するには不向きである。

【0003】 近年ではインターネットを利用して様々なWebページで利便性の良い各種地域情報を提供しているが、情報利用者は各種情報のデータベースを保有するサーバにアクセスしなければ新着情報の発生を知ることが出来ないため、即時性を必要とする情報の場合不向きである。

【0004】 メール形式においては新着情報がメールサーバに格納されるとオンラインであれば新着情報の発生を着信表示や着信音によって迅速に知ることは出来るが、その仕組み上、情報はメールアドレスの授受を行った両者間のみとなるので、不特定多数の情報提供者と不特定多数の情報利用者に情報を提供するには不向きである。

【0005】 現在では、メールマガジンのように、メール形式で提供された情報を、購読契約者に対して、定期的に配信する情報配信システムが存在するが、ユーザにはそのときの状況により必要な情報は様々であり、その必要なカテゴリの情報を必要のたびにメールマガジンの購読を契約していたのでは定期購読契約数が増えていくこととなり、購読を解約しない限り、必要としないとき

にも情報は定期的に送られてくるのでユーザに送られてくる情報件数は不必要に増え、ユーザは情報の整理を強いられることになる。

【0006】 ネットワーク社会の発達とともに増大する情報の中では、その中から、個々にとって利便性が良く価値の高い情報を迅速に得る、ということにおいて問題がある。また情報提供者側にとっても、情報提供者側から情報利用者に対して積極的に情報を提供するには様々なノウハウを必要とし、個人が提供するような小規模な情報の注目度を上げるには不向きである。

【0007】 請求項2が類する今までのシステムでは、蓄積されるユーザの情報はユーザが商品を購入したなど、ユーザの行った行動などの累計からマーケティング情報を作成するもので、このようなマーケティング情報は即時性を必要とする販売展開の指標には不向きである。

【0008】 従来のWebページ上の企業広告は目的のコンテンツを利用することにユーザの興味が集中し、Webページ上の企業広告にはあまり興味を示さない問題があった。

【0009】

【発明が解決しようとしている課題】 情報提供者から情報利用者へ情報が迅速に伝わることを支援し、且つ情報利用者が指定する条件に適合する情報を提供することで、情報の効率化を高める情報通信システムを提供すること、さらには、個人ユーザの小規模の情報配信を考慮低コストによる配信を課題とする。

【0010】 情報提供者と情報利用者の相互ニーズを一致させる。言い換えれば、情報提供者（広告主）にとっては、提供する情報を活用する人（消費者）及び、活用される情報（売れる商品）を必要とし、情報利用者にとっては活用出来る情報（買える商品）、及び活用したい情報（欲しい商品）を必要とする。この互いのニーズのずれを少なくし、速やかな情報・商品物流を課題とする。

【0011】

【課題を解決するための手段】 情報提供者からネットワークを利用して登録される地域情報を、地域・ジャンル別に格納し、格納する際に時間的要素を加え時間的制限を必要とする情報に対応する。さらに、迅速な情報の伝達を目的とする、地域・ジャンルごとの新着情報の発生を情報利用者に通知するようにしたことを特徴とする。

【0012】 情報提供者がWebページに情報の掲載を希望する場合、その掲載期間は時間単位での契約と時間毎の課金とし、そうすることで、提供する情報の有効性を守り、情報の陳腐化を防ぐ。

【0013】 ただし、情報を掲載する際に情報提供者に課金される料金を軽減するために、企業広告を提供する情報に添付することで得られる広告収入によって可能とする。

10

20

30

40

50

【0014】消費者がこれから必要としていることを分析することで、消費者の動向を先行することができ、より消費者のニーズに即した販売展開が可能となる。つまりは、情報利用者が本発明請求項1を利用することにより得られるユーザ情報を分析することである。

【0015】本発明の、マーケティング情報は請求項1と請求項2を連係させることで、消費者の動向を先行することができ、また販売戦略（広告）に対する消費者の反応などを本システムにより即時に提供出来ることを特徴とする。

【0016】

【発明の実施の形態】図1は、本発明の一実施形態のシステム構成を示す。図1において、aは情報利用者側が利用する端末であり、bは情報提供者が利用する情報端末である。a、bは移动通信網を含むネットワークcと接続してサーバdと通信を行う。

【0017】サーバdは本発明に必要な文章・イメージ・テキスト・音声・プログラム等のファイルを記憶しており、クライアントに要求されたファイルを送信する。

【0018】サーバdには、提供される情報及び情報提供者に関する情報、たとえば名前・住所・情報を掲載する期間などの情報がデータベースの形態で登録され登録された日時が付加される。提供される情報は文字だけでなく映像・音声などでも良い。

【0019】情報端末aは本発明のシステムを利用するために必要な情報、その他、必要事項の入力、及び、サーバから送信されるファイルの受信と請求項1に係わるシステムのうち、新着情報発生の通知を受信しその旨を知らせる新着情報通知受信部eを有する。

【0020】情報提供者側情報端末bは、提供する情報（広告）、その他の情報の入力、及び、サーバから送信されるファイルを受信する。

【0021】図2は、本発明請求項1・請求項2一連の動作を表す図である。同図に示すシステムは端末としてパソコン・モバイル・情報端末機能付き携帯電話などを想定している。端末とサーバをつなぐインフラストラクチャーとしては移动通信網を含む公衆ネットワークである。

【0022】情報提供者は自分の提供する情報を情報端末より地域・ジャンル・情報の有効な時間などの条件を付加して入力部d1に入力する。

【0023】情報提供者が入力する情報は、音声と映像を使い配信することで入力操作を簡便にしユーザにとっても解りやすく、文章だけでは伝わらない情報を伝えるようすることも可能である。

【0024】一方、情報利用者は必要とする情報のジャンル・地域・情報を利用する日時（例、明日、夜7時一渋谷ーグルメ情報）及び、その他必要な情報を入力部d1より入力する。

【0025】入力された情報は情報処理部d2により、

提供情報は地域ジャンルなど、照合に必要なカテゴリを記憶する登録カテゴリ記憶部d3と提供情報を記憶する提供情報記憶部d4にそれぞれ、ユーザ番号と格納時間を付加され格納される。

【0026】また、情報利用者が指定した地域ジャンルなどのユーザ指定カテゴリは指定カテゴリ記憶部d5に、利用者のその他の個人情報を利用者情報記憶部d6にそれぞれ、ユーザ番号と時間を付加され格納される。

【0027】新着情報検出部d7によって登録カテゴリ記憶部d3に新着情報が検出されると、照会部d8により新しく格納された登録カテゴリと条件の合うユーザ指定カテゴリを選出する。

【0028】通知部d9により、検出されたユーザ指定カテゴリのユーザ番号が付加された利用者情報が指定する通知方法により新着情報発生の旨を知らせる。

【0029】新着情報発生の通知を受けた情報利用者は必要があれば配信部d10より配信要求をすることで通知された情報の内容を得ることが出来る。

【0030】提供された情報の利用者端末画面への表示方法には、提供された情報の代表画面になる単位画面を表示するタイプ1、提供された情報の文字に見出しを表示するタイプ2、検索によって利用者が引き出すタイプ3があり、タイプ1の表示方法で画面表示されるものは新着情報として扱われる期間、もしくは、再掲載・期間の延長の契約がされた期間でありこのタイプの掲載には時間単位の課金がされる、タイプ2に課金はされないが利用率の低いものは、タイプ3に移る。

【0031】配信される提供情報には、通し番号など配信したユーザの情報に識別番号をつけ、送信後の処理の対応を可能にする。たとえばユーザがほかの端末で同じ情報を再送信してもらう際に提供情報の識別に使用する。また、ユーザに対して課金もしくは給金する一連の動作の中で識別に使用することなどが考えられる。また、情報提供者はその識別番号によるクジや値引きなどのサービスを行うことで利用率を上げることも考えられる。

【0032】本発明請求項2は、利用者情報記憶部に蓄積されるユーザ情報を、地域ごとの各カテゴリの累計することにより、その地域の消費者動向の指標となりマーケティング情報部d11によってグラフ化し、配信部d10の要求に応じて配信する。

【0033】図3、図4、図5は、ネットワークによって配信されるマーケティング情報の一例示画面である。図3は東京23区の現在時刻のグルメ情報を要求している利用者数と現在掲載している情報数を表す図である。図4は、渋谷区のグルメ、ショッピング、エンターテイメントの情報を要求している利用者数を時間帯別に表したものである。図5は、情報を本発明のシステムを利用したWebサイトに掲載して時間の推移とともに変化する情報利用者の数を表している。

【0034】本発明請求項3は、図6で示すような企業が提供する広告フレーム01を用意し、そのフレーム内に提供情報表示部02を有し、情報提供者によって提供される情報を表示する。

【0035】フレーム01は、企業の広告的要素のほかに、装飾的要素を含み、ユーザは自分の気に入ったフレームを選び、登録する文章、映像などの情報画像を装飾効果としての使用を満たすものである。

【0036】図7は、広告フレーム情報通信システムの一連の動作を表す図である。広告フレームを使って情報通信を行うものは、広告フレーム要求部D1より要求操作を行い、広告フレーム選択部D2に遷移する。

【0037】広告フレーム選択部には広告フレーム記憶部D3に現在格納されている広告フレームが表示され、表示された広告フレームの中から希望の広告フレームに選択動作を行う。

【0038】広告フレームを選択すると、レイアウト部D4に遷移し、登録した情報が広告フレーム内に表示される。イメージ画像を確認し可否判定操作を行い、可決操作がされると広告フレーム付き情報記憶部D5に格納され、配信部からの配信要求によって配信される。

【0039】広告フレームには、フレーム画像だけでなく、広告フレームを提供する企業の指定する企業イメージソングなどの音響効果をつけても良い。

【0040】広告フレームが、広告フレーム選択部に表示されている間は、提供情報表示部02に広告フレームを提供している企業の広告を掲載する。

【0041】請求項3の発明は本発明のシステムのみではなく、メール通信などのその他の情報通信への使用を含む。

【0042】

【実施例1】 地元のスーパーがタイムセールスを1時間後に始めることを決め、短時間で出来るだけ多くの集客をしたいと考えたが、チラシ広告では時間的にもそれにかかるコストも見合わないので、本発明の新着情報発生通知サービスがある地域情報サイトに、これからセールをする商品の画像と商品情報を自らの音声で登録をして、その他必要な情報を端末画面の指示に従い入力をした。

【0043】一方、この地域のショッピングの新着情報を希望していたAさんは携帯電話により新しいショッピングの情報が入ったことを知り、情報Webサイトよりこのタイムセールス情報を知り、今いる所からは充分間に合うので行くことにした。

【0044】Aさんはスーパーで目的のものを手にして、レジにて精算をするときに当地域情報サイトより情報を得たことをつげ、情報が送信されたときに一緒に添付されてきたパスワードを提示すると割引をしてもらうことが出来た。

【0045】

【実施例2】 あるレストランの店主が、今日は近くでコンサートがこれからあることを知り、本発明を利用したWebサイトのマーケティング情報（参考一例、図4）を調べてみると、実際この地域における今日夜8時のグルメ情報のニーズが高くなっていることを知り、本日、限定の特別メニューを用意して、その料理の写真とその他の情報を、当サイトのグルメ情報に掲載した。

【0046】自分が掲載した情報に関するマーケティング情報（図5）を見ると、新着情報発生通知サービスが行われたと思われるその直後から、自分の掲載したグルメ情報へのアクセス件数が結構あったので、特別メニューに必要な材料を仕入れておくことにした。さらに、8時にもう一度追加の情報掲載をした。

【0047】

【実施例3】 ライブハウスで歌を歌うことになり、多くの人に来てもらいたいのので、自分のステージの画像と歌を当システムのエンターテイメント情報に登録したいが、掲載時間を長くすると料金が高くなってしまったのでステージの映像に本発明による広告フレームをつけ広告掲載料を安くすることを試してみることにした。幸い気に入ったデザインのフレームがあり、見た目より効果的になった。

【0048】登録した情報へのアクセスは予想を遥かに超えて、ライブも成功に終わった。情報掲載の契約終了後、掲載料の徴収があると思ったが広告フレームを付けた情報へのアクセス件数が多かったために逆に報酬をもらえた。

【0049】

【発明の効果】 情報提供者が情報を必要とする消費者に即時、かつ効果的に伝えることが出来、また情報利用者にとっても、能動的に情報を収集している状態ではなくても即時性の高い情報が得ることが出来る。さらに、地域・ジャンル別に通知サービスを行うので、効果的に情報利用者にとって利便性の高い情報が提供出来る。

【0050】広告フレームは、装飾的な効果も持つので、広告フレームを使用することは金銭的な問題から使用を促されるのではなく、ユーザ自らの要求で使用するもので、フレームデザインによってはユーザの注目を集めることも考えられ、広告専門のサイトでも集客率を上げることが可能になる。

【0051】広告フレームには、フレームを提供する企業のイメージや、商品をデザインに取りこむことも出来るので、企業は、ユーザがその商品に対するコメントをフレームに入れてメール通信などを行い、その商品に対する噂が消費者から必然的に広まりやすくなることを期待できる。

【0052】本発明によるマーケティング情報は、タイムリーに消費者のニーズを地域・ジャンルごとに調べることが出来るので、地域の小規模の小売店が販売計画を立案するのに有効な手段となる。

【0053】また、今まで読み取ることが難しかった1部地域で突然起こる消費者のニーズを読み取ることが可能になる。地域的なものなのでその規模は小さいが、地元消費者と密接な関係を保つことに意味のある地元小売店には重要なマーケティング情報となる。

【0054】マーケティング情報はリアルタイムに対応しているので、広告主はそれに効果のある時間帯と地域に、あわせて広告を指定して、その反応や業績に合わせて販売展開をさらに考えることが出来る。こうした即効性を必要とした販売戦略展開を可能にする。

【図面の簡単な説明】

【図1】新着情報通知システムを利用した情報通信システムの一実施形態構成図

【図2】新着情報通知システムを利用した情報通信システムフロー

【図3】提供されるマーケティング情報画像の一例示図

【図4】マーケティング情報の例示図として、地域・ジャンル別の時間ごとの利用者数を表す図

【図5】マーケティング情報の例示図として、情報提供者〈広告主〉が提供した情報の時間別利用者数を表す図

【図6】広告フレームの一構成図

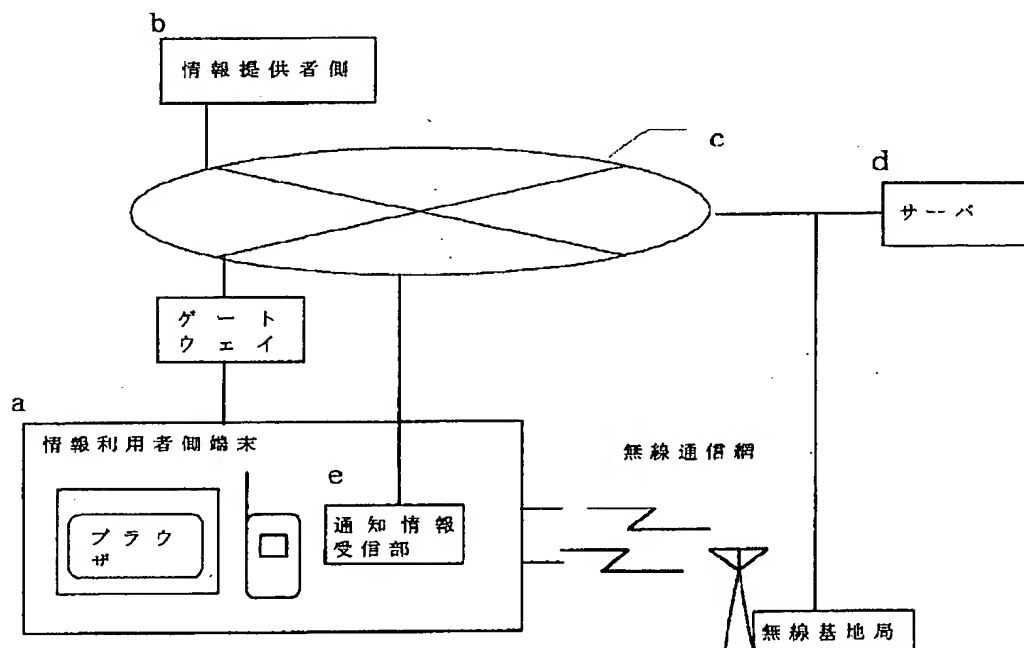
【図7】広告フレームを使った情報通信の1部をの動作*

*を表す図

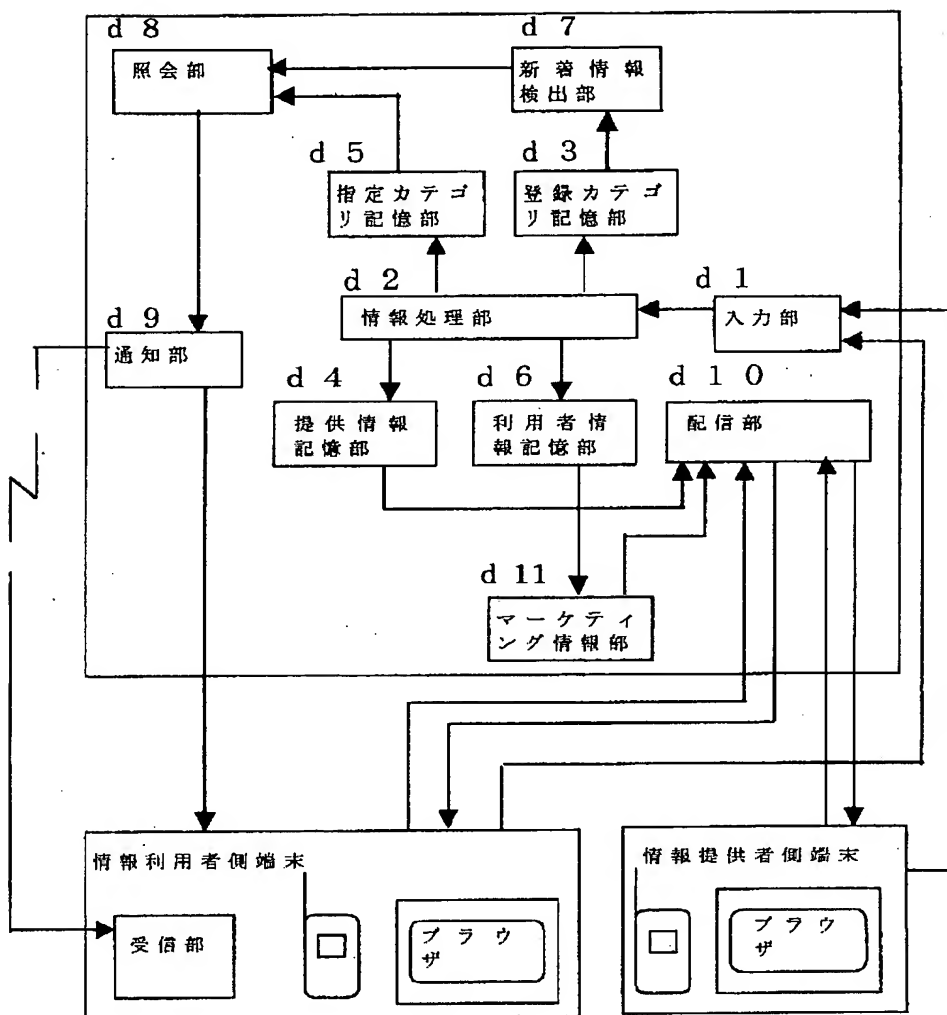
【符号の説明】

- a 情報利用者側情報端末
- b 情報提供者側情報端末
- c 移動通信網を含むネットワーク通信網
- d サーバ
- d1 入力部
- d2 情報処理部
- d3 登録カテゴリ記憶部
- d4 提供情報記憶部
- d5 指定カテゴリ記憶部
- d6 利用者情報記憶部
- d7 新着情報検出部
- d8 照会部
- d9 通知部
- 01 広告フレーム
- 02 提供情報表示部
- D1 広告フレーム要求部
- D2 広告フレーム選択部
- D3 広告フレーム記憶部
- D4 レイアウト部
- D5 広告フレーム付き情報記憶部

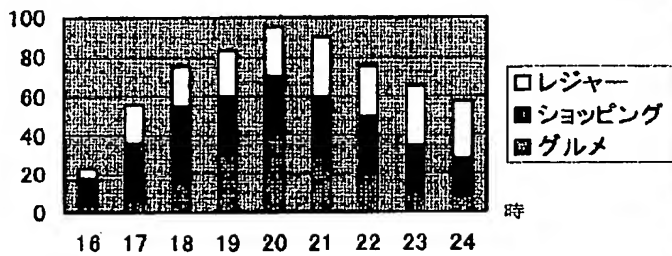
【図1】



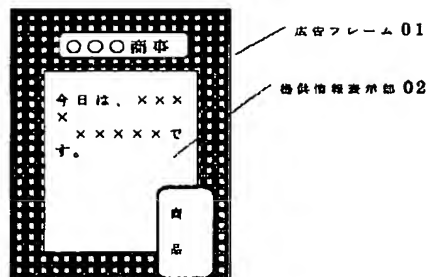
【図2】



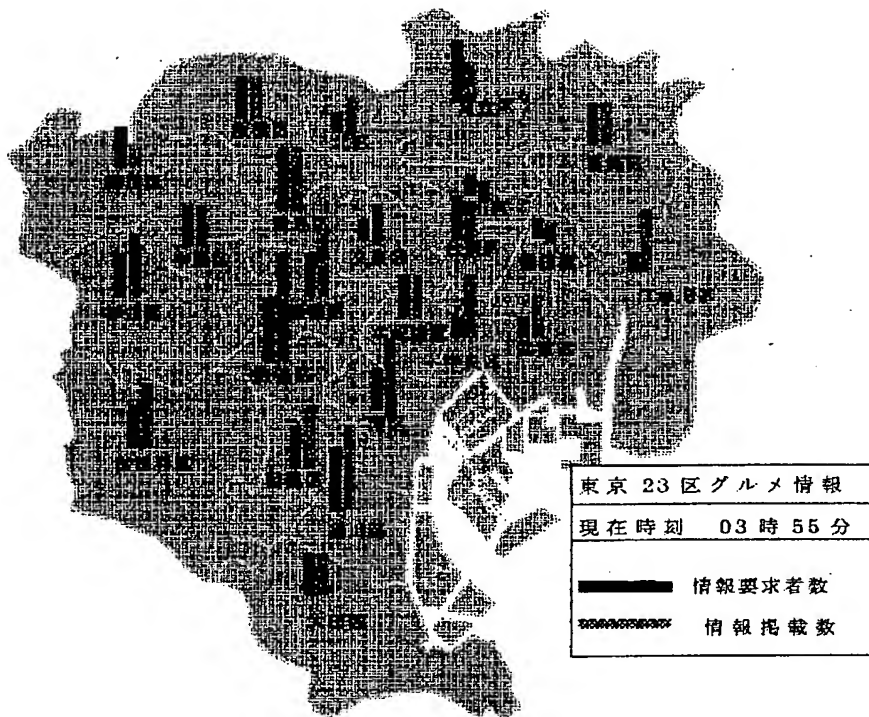
【図 4】



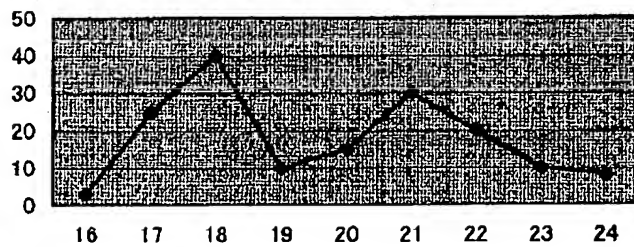
【図 6】



【図3】

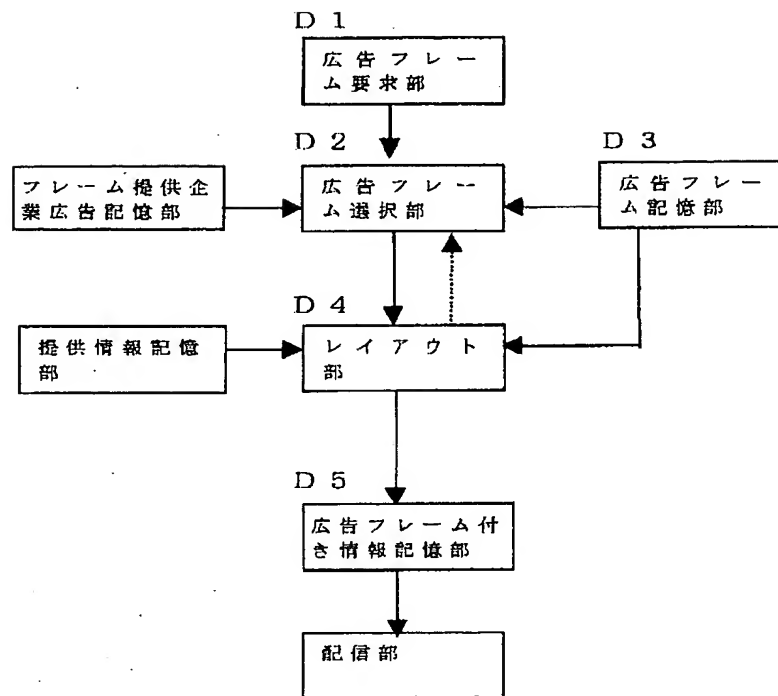


【図5】



情報提供	〇〇〇レストラン
契約時間	16:00-24:00
情報追加	20:00

【図7】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁷
G 0 9 F 19/00

識別記号

F I
G 0 9 F 19/00

テーマコード(参考)
Z